

平成26年6月13日

交野市長 中田 仁公 殿

交野市環境マネジメントシステム
監査チーム

主任監査員 玉井八恵子
副主任監査員 小西仁志
副主任監査員 江崎美枝子

独自目標監査報告書

LAS-E独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日時

平成26年6月13日（金） 13:30～

2. 監査対象

交野市役所

3. LAS-E 監査内容

【独自目標（平成25年度実績）監査】

エコアクション(環境活動)	①第1ステージ	/	④第2ステージ
エコマネジメント(環境経営)	②第1ステージ	/	⑤第2ステージ
エコガバナンス(環境自治)	③第1ステージ	/	⑥第2ステージ

4. 監査結果

項目	平成 25 年度 数値目標	H25 結果	達成状況	評価
電気使用量	電気使用量を、平成 21 年度を基準にして 22.0%削減する。	24.8%		
ガソリン使用量	ガソリン使用量を、平成 21 年度を基準にして 1.0%削減する。	-3.9%	×	
軽油使用量	軽油使用量を、平成 21 年度を基準にして 3.5%削減する。	3.8%		
灯油使用量	灯油使用量を、平成 21 年度を基準にして 3.5%削減する。	11.0%		
LPG使用量	LPG使用量を、平成 21 年度を基準にして 28.0%削減する。	39.0%		
都市ガス使用量	都市ガス使用量を、平成 23 年度を基準にして 1.0%削減する。	-3.0%	×	
水使用量	水使用量を、平成 21 年度を基準にして 6.0%削減する。	10.3%		
廃棄物の排出量	廃棄物の排出量を、平成 23 年度より削減する。	6.2%		
コピー用紙の使用量（購入量）	コピー用紙の使用量（購入量）を平成 23 年度より削減する。	-12.1%	×	
CO2 換算温室効果ガス排出量	CO2 換算温室効果ガス排出量を、平成 21 年度を基準にして 3.0%削減する。	4.7%		
職員研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる職員研修を、年 2 回以上開催する。	2 回		
実行責任者研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる実行責任者研修を、年 2 回以上開催する。	8 回		
環境に関する情報の提供	環境に関する情報を広報誌やホームページ等で年 6 回以上提供する。	6 回以上		

項目	平成 25 年度 数値目標	H25 結果	達成状況	評価
公共下水道の推進	下水道普及率 94.1%以上	94.5%		
安心安全な水道を安定に給水する「水道」	私市ポンプ場の完成をもって3年にかけて自己水割合の増加(前年度7割)	7割		
緑道等の整備と適切な維持管理	緑道の維持管理 5件以上	5件		
公園等の適切な維持管理	都市計画公園の維持管理 26件以上	26件		
ちびっ子広場の適切な維持管理	ちびっ子広場数 110か所以上	109か所		
山地対策協議会の活動支援	イベント参加者数 450名以上	80名	×	
自然・緑地環境等の維持管理	樹木等の保全支援 4件	4件		
ごみの減量化・リサイクル推進に係る市民活動の支援	基準年度(18年度)に対して排出量削減及び再生利用率を向上	集計中	/	
緑とリサイクル事業	堆肥配布数 前年並	8,000袋		
農業団体活動の支援	農業団体等の数 4件以上	4件		
市民参加による農地の保全	市民農園の斡旋や景観形成作物の栽培支援実施 3か所以上	4か所		
地球環境への負荷を定量的・定期的に把握	年 2 回以上	2 回		
数値的に設定された独自目標（モアチャレンジ）の設定	全ての職場で取組みを 1 つ以上設定	全ての課で設定		
環境保全の啓発	環境講座等の参加者数 250 名以上	290 名		
ごみの減量化・リサイクルの推進の啓発	前年度より広報誌等による啓発記事の回数を増(前年度 6 回)	8 回		
農とふれあい機会の提供等	農業体験開催数 3 件以上	2 件		

達成状況： = 達成、 = 一部未達成、 × = 未達成

評価： = 良好、 = 改善要望、 × = 警告

5. 所見

(1) 評価

平成25年度の独自目標について監査した結果、第1ステージと第2ステージにおけるエコアクション、エコマネジメント、エコガバナンスのすべてについて「良好()」と評価しました。

(2) 第1ステージのエコアクションについて

個々の達成状況をみると、10項目のうち3項目で目標を達成していませんでした。ガソリン使用量については、国や大阪府が行っていた事務の移譲、災害による出勤回数の増加、都市ガスについては星の里いわふねでの使用開始、学校でのエアコン使用と夏季休暇短縮、コピー用紙の使用量(購入量)については計画策定や消費増税前の買い溜めなどが主な原因とされています。

しかし、ガソリン使用量も都市ガス使用量も前年度よりは削減できており、やむを得ない状況の中で努力も窺えること、全体的に前年度より削減しており、総合的な結果が表れる温室効果ガス排出量についても基準年の平成21年度比で4.7%削減されていることから「良好()」と評価しました。

ガソリン使用量と都市ガス使用量については前回も同じ項目で未達成となっっています。一時的な原因ではなく、業務量の増加や設備更新によるものですから、目標値の見直しが必要と思われます。また、コピー用紙は購入量で把握しており実際の使用年度とずれが生じて取り組み状況と一致しない可能性があることから、使用量で把握できないかについてもご検討ください。

(3) 第2ステージのエコアクションについて

今回、第2ステージについては初めての独自目標監査となりました。今ある環境を守り維持管理することも行政の義務ではありますが、担当者の努力だけでは実現することが難しく、目標として掲げるにはそぐわないものや、集計時期が監査時に間に合わないものがあることも明らかになりました。第2ステージに取り組み始めたところですので、内容を柔軟に見直していかれると良いと思います。

課題はありますが、掲げた目標に対しては11のうち改善の余地がある「未達成(x)」となっているものは1項目のみとなっていることから、「良好()」と評価しました。

目標を達成できなかった山地対策協議会の活動支援は、例年実施していたイベントの内容を見直し、協議会参加団体間の調整に時間がかかったため開催時期が遅くなり、それに伴う周知不足によって参加者が目標人数に達しなかったということですが、上位目標を達成する手段としてイベントがふさわしいのかについても協議会の皆さんで検討されてはいかがでしょうか。

農業団体活動の支援として直売所を設けており市民にも好評ですが農産物が午前中でなくなってしまうこと、一方で市民参加による農地の保全として行っている市民農園は応募者多数で好評ということです。この2つを組み合わせ、交野市独自の取り組みができないかについても検討されてはいかがでしょうか。

(4) 第 2 ステージのエコマネジメントについて

第 2 ステージのエコマネジメントの目標として掲げられた「モアチャレンジ」は、前回まで第 1 ステージの目標だったものを数値化したことから第 2 ステージの目標へとステップアップしたものです。目標は「各職場 1 つ以上設定」でしたが、2 つ以上設定された職場がほとんどで、その内容も、地域の清掃活動に参加するなど職場内に止まらないものもありました。その一方で「環境への負担を減らす」「資源を大切にすると」いった漠然とした目標もありました。昨年 1 1 月に実施した共通実施項目監査の報告書にもあるように、交野市環境基本計画総合ビジョンの「たのしい」に関連付けた具体的な数値目標を検討されてみてはいかがでしょうか。

(5) その他

その他の視点についても、概ね良好に取り組まれていました。

引き続き、目標や内容を見直しながら、交野市の環境を維持・向上していけますよう、お願い致します。